

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 26 日

事業名称		下水道事業会計 [公共下水道事業の認可申請業務]							
予算科目	款 1	下水道事業費用	項 1	営業費用	目 1	管渠費	事業番号		
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	下水道		課		業務		係	課長名	廣瀬 裕
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1	
【施策名】 市街地の整備							総合計画書 (ページ)	83	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	公共下水道事業				公共下水道事業計画の認可面積				
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
公共下水道事業の認可期限が終了するため、事業施行期間を延伸して、下水道(汚水)の整備を進めたい。				公共下水道事業の汚水整備率					
→									
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
延伸期間を含む新たな財政計画や污水管渠計画を立案し、事業計画書、事業計画説明書、図面を作成して、関係者協議、告示・縦覧、事業認可申請を行い工期を延伸した。				公共下水道事業の期間を延伸した年数					
→									
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	ha			1,009.2			
	成果指標	②の数値	%			98.0			
	目 標	②の目標値	%			98.0	98.5	99.0	
		目標値設定の考え方 公共下水道事業の汚水整備率							
活動指標	③の数値	年			4				
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	4,070,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円			0			
		特定財源(国・都・他)	円			4,070,000			
		(うち受益者負担)	円			0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.1			
		所要人数(再任用)	人			0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円			838,000			
		職員人件費(再任用)	円			0			
事業費+人件費		円	0	0	4,908,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和50 年度								
	(2) 環境の変化								
公共下水道の整備率が100%に近くなり、誰もが安全・安心に下水道が使用できるようになった。河川等の水質の改善にも役立っている。									

事業名称	下水道事業会計 [公共下水道事業の認可申請業務]			
担当部署・課長名	下水道	課	業務係	課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特に無かった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 市街地の整備			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】			
	事業の進行状況により、事業計画内容の変更や工期延伸等の変更認可申請を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	上位計画である流域下水道計画と整合を図る。			
	計画中の公共下水道雨水計画と事業認可申請について調整を行う。			